

兵庫県医師連盟ニュース



発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-231-4114

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 空地 顕一

index

2017〈第13号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項
- 尼崎市医師会役員・医政委員会勉強会
- 兵庫県医師連盟の皆様へ
- 議員対談 衆議院議員 関 芳弘氏
- 郡市区医師連盟だより

医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 空地 顕一

の健康と日本の医療を守るために活発な活動を続けておられます。兵庫県ではこの平成29年度に、兵庫県知事選挙をはじめ、県下各地で18の首長選挙、14市町で議会選挙が行われます。今、県下各地域においては、医療連携や医療・介護連携の構築が求められており、どういう人が地域の政治的リーダーになるかは大変重要な意味を持ちます。首長選挙、議会選挙が施行される医師連盟におかれましては、医療に理解があり、我々とともに医療を守り、医療や介護の体制整備に力を尽くしてくる人が当選を勝ち取れるよう、応援をお願いいたします。

この健康と日本の医療を守るために活発な活動を続けておられます。兵庫県ではこの平成29年度に、兵庫県知事選挙をはじめ、県下各地で18の首長選挙、14市町で議会選挙が行われます。今、県下各地域においては、医療連携や医療・介護連携の構築が求められており、どういう人が地域の政治的リーダーになるかは大変重要な意味を持ちます。首長選挙、議会選挙が施行される医師連盟におかれましては、医療に理解があり、我々とともに医療を守り、医療や介護の体制整備に力を尽くしてくる人が当選を勝ち取れるよう、応援をお願いいたします。

会員の皆様には、医師連盟の活動に深いご理解とご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨年の参議院議員選挙におきましては、日本医師連盟推薦候補として参議院比例区に立候補した自見はなこ氏をご声援いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで21万票余を獲得し、自民党の比例代表候補の中では9位、医療関係候補の中ではトップで当選する事ができました。自見氏は、参議院厚生労働委員会に所属し、同委員会委員長の羽生田氏とともに国民

の健康と日本の医療を守るために活発な活動を続けておられます。兵庫県ではこの平成29年度に、兵庫県知事選挙をはじめ、県下各地で18の首長選挙、14市町で議会選挙が行われます。今、県下各地域においては、医療連携や医療・介護連携の構築が求められており、どういう人が地域の政治的リーダーになるかは大変重要な意味を持ちます。首長選挙、議会選挙が施行される医師連盟におかれましては、医療に理解があり、我々とともに医療を守り、医療や介護の体制整備に力を尽くしてくる人が当選を勝ち取れるよう、応援をお願いいたします。

の健康と日本の医療を守るために活発な活動を続けておられます。兵庫県ではこの平成29年度に、兵庫県知事選挙をはじめ、県下各地で18の首長選挙、14市町で議会選挙が行われます。今、県下各地域においては、医療連携や医療・介護連携の構築が求められており、どういう人が地域の政治的リーダーになるかは大変重要な意味を持ちます。首長選挙、議会選挙が施行される医師連盟におかれましては、医療に理解があり、我々とともに医療を守り、医療や介護の体制整備に力を尽くしてくる人が当選を勝ち取れるよう、応援をお願いいたします。

兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項

平成29年4月2日(日)に兵庫県医師会館で開催し「平成29年度事業計画」、「平成29年度予算」及び「平成29年度会費賦課徴収」の3議案について、原案通り可決されました。

(医療政策勉強会等の開催)
③兵庫県議会主会派に対する医療政策実現化に向けての県予算化要望。
④兵庫県議会自由民主党保健医療推進議員連盟との連携強化。

啓発とそれを実現させる為の政治活動への参画意識の昂揚を図る。
①医師連盟若手会員の育成。
②医療政策を政治に反映させる方策の検討。

(平成29年度事業計画)

医師の政治力強化を図り、もって「国民皆保険制度の堅持」、「地域保健医療活動の強化」、「平等で安全な医療提供体制の確保」並びに「医療経営基盤の確立」等各種施策の実現のため政治活動を展開する。

⑤選挙活動の展開
兵庫県知事選挙並びに県下首長選挙、自治体議会選挙における医師連盟推薦候補者の選挙支援活動を展開する。

④各関係団体との連携強化
関係団体との強固な連携のもと、医療施策の実現化の為に政治活動を展開する。
①日本医師連盟との連携。
②近畿各府県医師連盟(医師政治連盟)との連携。

二. 広報活動

県民並びに関係団体に対して、強く医師連盟の理念と医療政策を訴え、理解を得るよう努め、広く県民等を巻き込んだ世論の形成を目指す。

①フォーラム等県民並びに関係団体等参加の集会開催。
②医師連盟ニュースの企画・編集、定期発行並びに関係団体への配布。
③医師連盟ホームページの充実。

③兵庫県歯科医師連盟、兵庫県薬剤師連盟との連携。
④その他の関係団体との連携。

一. 政治活動

①県下首長・議員に対してのロビー活動展開。
②県選出国會議員はマンツーマン方式による。

①フォーラム等県民並びに関係団体等参加の集会開催。
②医師連盟ニュースの企画・編集、定期発行並びに関係団体への配布。
③医師連盟ホームページの充実。

③兵庫県議会議員との医療政策に関する意見交換会の開催。

三. 対内活動

②兵庫県議会議員との医療政策に関する意見交換会の開催。

③医師連盟ホームページの充実。

④その他の関係団体との連携。

兵庫県医師連盟ホームページ

随時更新中

兵庫県医師連盟

検索

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

尼崎市医師会役員 医政委員会勉強会

尼崎市医師連盟 会計監督者
兵庫県医師連盟 常任執行委員 鈴木 克司

兵庫県医師連盟の医政活動推進助成金の補助を得、会費制にて平成29年3月16日午後6時より、尼崎市浜田町の「京極」にて標記勉強会が開催されました。尼崎市医師会より黒田佳治会長（尼崎市医師連盟委員長）以下、橋本創副会長（同副委員長）、八田昌樹・杉安保宣・中川勝・中川純一・鈴木温各理事と監事の鈴木、医政委員会より横田芳郎委員長、さくらに兵庫8区選出の中野洋昌衆議院議員（公明党）、黒川治良議員（自民党）、谷井勲兵庫県議会議員（公明党）、丸山孝宏尼崎市議員（新公明）、地元行政より山本光昭兵庫健康福祉部医監、松田直人阪神南県民センター長が参集し、懇談しました。今回は山本医監より「医療政策・医療経営の最近の話題について」と題して講演いただきました。



医師連盟推薦議員の皆様の理解を深めるために有意義であったと思います。山本医監講演では広島県で40年前に成功した公立みつき病院の試みに原点を有する地域包括ケアは、市町レベルという日常生活の最前線に救急時にも想定して障害者・要介護者の生活を支える体制であることがまず確認されました。実現の背景として重要な病床数は地域医療計画では全病床数を対象にしているのに対し、地域医療構想では病床区分を対象としているとの違いがあること、必要病床数は高齢化の進行とともに変化すること、高齢社会の医療は命を延ばすだけでなく生活を支え死に寄り添うことも重視されるべきことなど、議員の皆様には是非認識いただきたい事項がわかりやすく伝えられました。後半は医師養成や他府県の医療機関運営の好事例、専門医制度の方向性などにも私見を交えて言

及され、前日に出席された全国在宅医療会議での武久洋三日本慢性期医療協会会長の発言（在宅医療には多数の機関が関係するが、国民が第一に相談する先

先日は、皆様から、引き続き県政運営を担うべく、夏の知事選挙に出馬するよう要請をいただきました。

困難な道になるとしても歩みを止めることなく、兵庫の未来を切り拓いていく責務を果たすため、今夏の知事選挙への出馬を決意しました。

今一度、原点に立ち返り、県民の皆様への参画と協働の観点から、生活重視、現場主義の県政を基本として、ふるさと兵庫の発展に全力を尽くす覚悟です。

来年は明治維新から150年、本県設立150年を迎えます。その時代を生きた人々は、現在の日本を想定することができたでしょうか。今の兵庫を念頭において行動してきたのでしょうか。いや、できるはずはありません。しかし、その時々課題をしっかりと見つけてシナリオを描き、柔軟に、したたかに対応してきたのです。それほどに150年は変化への対応の連続でした。

内外ともに変化が激しくなり、先の見えない中、私たちは

兵庫県医師連盟の皆様へ

困難な道になるとしても歩みを止めることなく、兵庫の未来を切り拓いていく責務を果たすため、今夏の知事選挙への出馬を決意しました。

今こそ、時代の荒波を乗り越えてきた先人の足跡を振り返り、これからのような兵庫を創っていくのかを考え直す時です。私の県政の基本姿勢である「参画と協働」の原点に立ち返り、県民の夢や願いをもとに改めて兵庫がめざす姿を描き、そのスタートを切りたいと決意しています。

私たちが直面している大きな課題の一つに、2025年問題に象徴される高齢社会への対応があります。いつまでも元気で楽しく、生き生きと暮らしたい。こうした県民の願いを実現するためには、一人ひとりの健康がなによりも大切です。

兵庫県では、かねてより県民の皆様とともに、地域医療の充実や健康づくりの推進などによる「健康ひょうご」の実現をめざした取り組みを進めてきました。

医師会の皆様には、昨年10月公表した「兵庫県地域医療構想」の策定、喫緊の課題である認知症対策である「認知症相談医療機関」の登録、公表にご理解いただくなど、ひとかたならぬご

は行政・医師会で集約化がなされるべきが紹介され、医師会の役割が再認識されたと思います。

終了後の懇談にてさらに深く


山本医監と意見交換する参加者が多く、筆者らも尼崎市に要請している事項につき改めて市議と情報交換できた貴重な機会となりました。

協力をお賜っております。

本年3月には、「兵庫県健康づくり推進プラン（第2次）」を策定しました。新たなプラン

の基本方針は、①ライフステージに対応した取組の強化、②健康寿命の延伸に向けた個人の主体的な取組の推進、③社会全体として健康づくりを支える体制の構築、④多様な地域特性に応じた支援の充実の4つです。

今後、このプランに基づき、具体的な施策を盛り込んだ実施計画を策定し、健康づくりに携わる様々な方々との連携・協働のもと、県民一人ひとりが生涯にわたって健康で生き生きとした生活ができる社会の実現をめざして全力で取り組んでいきます。



兵庫県知事
いとしぞう
井戸 敏三
昭和20年8月10日生 71歳
現住所：神戸市

【略歴】

昭和43年	卒業	法学部	大学
昭和43年	採用	佐賀県	自治省
	勤務	国土地院	自治省
	勤務	経政局	自治省
	勤務	自治官	自治省
	勤務	自治官	自治省
平成7年	任	兵庫県	副知事
平成8年	任	兵庫県	知事
平成12年	任	西広域	連合会長
平成13年	任	同	同
平成17年	任	同	同
平成21年	任	同	同
平成22年	任	同	同
平成24年	任	同	同
平成25年	任	同	同
平成26年	任	同	同
平成28年	任	同	同

【趣味】 山歩き、タウンウォッチング

【座右の銘】 誠心誠意

【著書】

- 地方自治総合講座（編集代表）
- 随筆集 歩みながら
- 随筆集 一歩いっぽ
- 随筆集 一歩いっぽ 続
- 随筆集 一歩いっぽ 続々
- 随筆集 歩みながら 続
- 随筆集 新一歩いっぽ
- 随筆集 新一歩いっぽ 続
- 随筆集 新一歩いっぽ 続々
- 随筆集 歩みながら 続々
- 随筆集 新々一歩いっぽ
- 随筆集 新々一歩いっぽ 続
- 随筆集 新々一歩いっぽ 続々
- 随筆集 歩みながら 四
- 随筆集 新々一歩いっぽ 四
- 随筆集 新々一歩いっぽ 五
- 随筆集 新々一歩いっぽ 六

また、県立病院の整備はもとより、平成26年度に設置した「兵庫県地域医療支援センター」による医師確保対策の推進や医師の派遣など地域医療機関への支援、ドクターヘリの全県展開をはじめとする救急・災害医療体制の強化など、地域医療の確保にも引き続き取り組みます。

今後とも地域に密着した医療活動の担い手として、県政推進への指導とご鞭撻をいただきますよう心からお願い申し上げます。



花田委員(以下 花田)

本日は国政でご多忙の中、兵庫県医師連盟のインタビューを受けて頂きありがとうございます。

本日の内容は、兵庫県医師連盟ニュースに掲載させて頂きますので、どうぞよろしくお願致します。

関 芳弘先生は、昭和40年徳島県小松島市のお生まれで、関西学院大学経済学部を卒業の後、住友銀行(現在の三井住友銀行)に入行され、17年間勤務されておられました。

また、英国国立ウェールズ大学院修了され、MBAを取得されておられます。

選挙区は、兵庫3区(神戸市須磨区・垂水区)で、平成17年

9月、衆議院議員に初当選され、現在3期目を迎えられる、自民党副幹事長、経済産業大臣政務官など、さまざまな要職を経て、現在環境副大臣として

出来る様な、そんな大金持ちになろうとか、また、大企業に入ってバリバリ働くスーパーサラリーマン、つまりビジネスマンとして世界を飛び回って仕事をやる様な、そんなビジネスマンになろうとか、いろいろ考えていたのです。

この様に学生の頃から政治家を目指していた訳ですから、銀行に17年近く勤めさせて頂いたことで、経済のことや社会のことに関し深く勉強することが出来、現在の政治活動に生かせることが出来ますことに大変感謝しております。

金融委員会の方で取り組みをさせて頂いたのですが、1回の落選を挟みまして、2期目、3期目と本来のやりたい経済産業に関わる政務を担当させて頂き、その後、経済産業大臣政務官を拜命致しました。次に自民党本部の党勢拡大を図っていかねばならないということで、自民党の幹事長室に入りまして、副幹事長を3期務めさせて頂きました。

花田 ご略歴の中に、平成22年平成25年に2度、モンゴル政府から勲章を受章されていますが、どのような活動をされていたのでしょうか。

に貧困な子供達は、家でも食べられないので、家を出て来て首都のウランバートルに集まって、地下に埋められているマンホールの中で生活をしてしまっているのです。

められ、ご活躍中です。

関先生、本日はよろしくお願致します。

関 芳弘議員(以下 関)

よろしくお願致します。

花田 議員になられるまでの経過を簡単に紹介させて頂きましたが、補足などありましたら、お聞かせ下さい。

関 私は、大学の4回生になった時に、将来何になろうかと色々と考えましたが、自分の夢が叶う様な仕事に就きたいと考えました。

親しい花田先生ですから、ぶっちゃけた話をしますと、大金持ちになって、左団扇で、つかいプール付きの家に住んで、パラソルの下でワインでも飲みながらプールの横で、ゆっく

今から思えばどんな仕事も人の為になっているのですが、学生の頃ですから、ストレート、直球の様な職業が頭に思い浮かんで、その時に、政治家になって、色々と困っている人達を救ったり、世の中の為になれたらと考えた訳です。

大学4回生の就職活動の時、すぐに政治の世界に行く為の道のりを歩み始め様と思っ

この様に学生の頃から政治家を目指していた訳ですから、銀行に17年近く勤めさせて頂いたことで、経済のことや社会のことに関し深く勉強することが出来、現在の政治活動に生かせることが出来ますことに大変感謝しております。

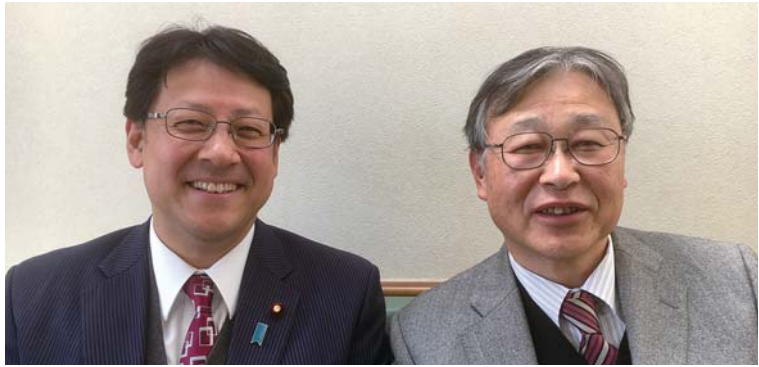
経済はその時々々の景気によって非常に大きな影響を受けま

経済活動によって、色々と地球全体が汚れたり、生活環境が悪化したりする様な場合があり、経済産業方面がよく分かった人が担当になるといいだろうということ

その関係で、チングスハーン生誕800年の記念の年に、今までモンゴルが国家としてお世話になった方々に、チングスハーン勲章を授与することになりました時、私も選んで頂き、ウランバートルまで行きました、その叙勲式典で勲章を頂きました。

このことでツァケン勲章という西国友好の勲章を頂きました。この2回でございます。

花田 今もモンゴル政府との関連というか、活動はされていますでしょうか。



(三画面より)

関 モンゴル政府とその後、その様なご縁がもたらされ、繋がりが強くなりまして、外務省ですとか、大使ですとか、定期的にご挨拶をさせて頂いております。大統領が日本にお越しになられる時などは、夜の祝賀会にお声掛けをして頂き、親交を深めさせて頂いております。

花田 医師連盟として関先生を応援して来ておりますが、これまでの医療との関わりや、医療政策に関する思いを教えてくださいませんか。

関 ありがとうございます。私は、親戚に医療関係者がおります。診療所を開設しております。よく医療の現場のことを聞かせて頂いております。

そしてまた、国会の中にも議員連盟がございまして、地域の医療をしっかりと応援する国会議員連盟にも入らせて頂いております。今、国が財政的な危機のある中におきまして、いかにして持続可能な医療制度を構築し保っていくのかという議論があります。環境副大臣と

あります時には、環境副大臣といつことではないかと、衆議院議員としての立場でその会議に参加させて頂いて意見を言わせて頂いております。私が思いますのは、今回アメリカでもオバマケアを存続させる

るかどうなのかという様な大議論がありますけれども、そういうことを考えますと、日本の国民皆保険制度というのは非常に素晴らしい、世界に冠たる制度であるというふうに実感を感じます。

この制度をこれからも続けていけます様に制度を守っていくこと、今、国の方が打ち出している地域包括ケアシステムを成功させないといけない。地域包括ケアシステムは地域、地域で事情が違いますので、地域ごとに特色のある制度を柔軟に作っていく必要があると思います。

非常に難しい点も、課題も多く含んでいる様な制度です。で、上手く機能していく様、私も甚だ微力でございますが、尽力させて頂ければと思っております。

花田 現在、環境副大臣を務められておられますが、医療と環境問題というのは表裏一体です。医療廃棄物の問題もござい

ますし、従来から水俣病、四日市公害、四日市ぜんそく、PM2.5、花粉症の問題、最近では東日本大震災での放射能汚染問題などがあります。お取り組みなどございましたら教えてくださいませんか。

でも2人副大臣がおりますが、私の担当の分野でございます。活発な経済活動から発生して来ます疾病に対して、国家としてどの様に対応していくのか、まず第一義的には、その様な公害被害を出してしまった企業が保証しないといけないと思っております。それだけでは保証が充分でないでしょうから、その点については国の方が保証をしっかりとさせて頂く、尚且つ治療を充分にして頂く様な体制を作らないといけないと思っております。

その様な中におきまして、国の財政事情などから、恐らく病気に罹られた方全員が満足の得られる様な状況まで手当が進んでないのではないかと、心配しながら日々取り組んでいる状況です。

国民の健康を、国家として責任を持つという考え方を確立する様でなければなりません。国家自身が責任を回避したり転嫁したりせずに、真正面から内容に取り組む様な姿勢を取れたらと考えております。

花田 診療報酬の増減問題、医療と介護の連携、いわゆる地域包括ケアシステム、社会保障制度などについてのご意見をお聞かせ下さい。

関 消費税が上がった分だけ、その分診療報酬が増えない

という点に關しまして、医療の方々に、恐らくご迷惑がかかっているのではないかと心配しております。

経費増分、消費税の割合を医療の関心の報酬に当ててくれな

いでは、経営は苦しくなってくる様な状況が見受けられるのではないかと思います。

少子高齢化も進み、先ほどの地域包括ケアシステムとも併せ、苦しい経営ではあります。国家全体で各地域、各地域が本

当に安定した医療体制、地域の健康というのが保てる様な制度づくりというのが大事だと思います。その際、一番基盤となりますのは、医療の方々の経営の安定だと思っております。その点につきましては、政治家としてしっかりと配慮、目配せをしていかないといけないと思っております。

花田 世界に冠たる国民皆保険制度を堅持することは、我々の使命と思っておりますが、ご協力今後ともよろしくお願い致します。

都市区医師連盟だより

【西宮市医師連盟】

西宮市は現在県立西宮病院と市立中央病院の合併が市民の関心事であり、医師会も会長が検討委員会に出席して協議に加わっております。西宮市医師連盟は医師会の会長、会長経験者が執行委員長、執行副委員長に就任し、医師会理事が常任執行委員で構成され、各地区の幹事に執行委員をお願いして、精力的に国政選挙、地方選挙に対処しております。昨年7月の参議院選挙では比例区で自見はなこ氏を地方区で末松信介氏を推薦し、自見氏には医師会館に来ていただき会員を前に出馬表明をしていただきました。平成25年の参議院選挙では羽生田たかし先生を推薦し共に当選していただいております。

西宮市の得票数は自見氏598票、羽生田氏738票で結果としては十分ではなく反省点です。しかし羽生田氏、自見氏、末松氏には当連盟の推薦議員となつていただき、年末の医師会忘年会に出席していただいております。平成26年の総選挙では7区の衆議院議員選挙で山田賢司氏を推薦し2期目の当選をされ、推薦議員となつていただいております。現在以上の4名の国会議員に推薦議員となつていただき、機会あるごとに医療問題、地域医療構想などを話し合っております。県会議員では野口裕氏、北川泰寿氏、栗山雅史氏、吉岡政和氏の4名を推薦、市会議員は6名の推薦で、市会議員とは毎年年初に懇談会を開催し、親しく市の医療



兵庫県知事選挙

投票日 **7月2日(日)**

【期日前投票のできる期間】 6月16日(金) ~ 7月1日(土)

環境等を話し合っております。今年が兵庫県知事選挙の年ですが、これまで現井戸知事を推薦してまいりました。今年も井戸知事が立候補されれば推薦させていただきます。これを決めております。

いずれにしても所属政党にこだわらず、医師会、医療問題に理解のある方を推薦することにしており、今後とも地域医療構想に政治的な判断はますます必要になることと思っております。医師連盟として推薦議員、行政と緊密に連携して、医療政策が西宮市民に有益なるよう努力する所存です。